

インドネシア 代理店紹介

私はインドネシアのジャカルタに今年9月で約15年住んでおります。元々インドネシアに来たきっかけは高校1年から大学までオーストラリアに6年間留学し、その際にインドネシアに何度も遊びに来て気に入ってしまった為です。



現在はインドネシア人の妻と子供3人で暮らしており、家庭内での会話は日本語は全くなく全てインドネシア語です。インドネシアに来てからはローカル自動車部品メーカーで2年勤め、そして日系フォワーダーで約5年勤務しAIRと船の知識を得て今の『PT.ASL Transport』という会社を設立致しました。設立したのは2008年でちょうどリーマンショックの時期だった為、市場はかなり厳しい中でのスタートとなりました。現在は従業員が80名程の規模となり日系フォワーダー様の下請けとして、より良いサービスのご提供ができるよう日々努めております。

PT.ASL Transport (インドネシア代理店) : Kei Tsuzuki

情熱羅針盤
ジャパントラストかわら版



~Thanksgiving感謝際~

アメリカで毎年11月に祝っているThanksgiving感謝祭はもともと収穫を祝う事や、豊作を祈る、という宗教的目的もありましたが、現代の経済大国アメリカでは祝日に伴い、Thanksgiving Day前後日に多様なイベントや行事が行われています。

NYでの有名デパートがスポンサーする様々なFloat(日本で言う山車のような)が出るパレードが全米TV中継され、アメリカンフットボールの試合を見ながら家族、親戚が集まり各家庭こだわりのレシピで焼き上げたターキーを食べたり、クリスマスショッピングシーズンの開幕で夜中の0時から始まるセールも多くありました。

昔、私も夜中の3時頃に日系電気メーカーに勤める友人と一緒に家電大型店に売れ具合を見に出向いた事もありました。大勢の人々が店の外でテントを張って泊り込みで朝の開店を待つ光景は、毎年ニュースで報道されています。セール目玉商品を争ってのお客同士の殴り合いの喧嘩も毎年ニュースで報道されている定番の残念なひとコマです。生活基準の上昇や近代化に伴い、経済的効果のあるイベントが中心の世の中になった感がありますが、日本でも昔ながらの祝日や習慣をもっと大切にすることができるとお金では買えない心のゆとりが生まれるのでは？

とアメリカで人生の半分以上を過ごした今、気づくこともたくさんあります。



Great Luck Inc.(北米現地法人) : Shino Kokubu